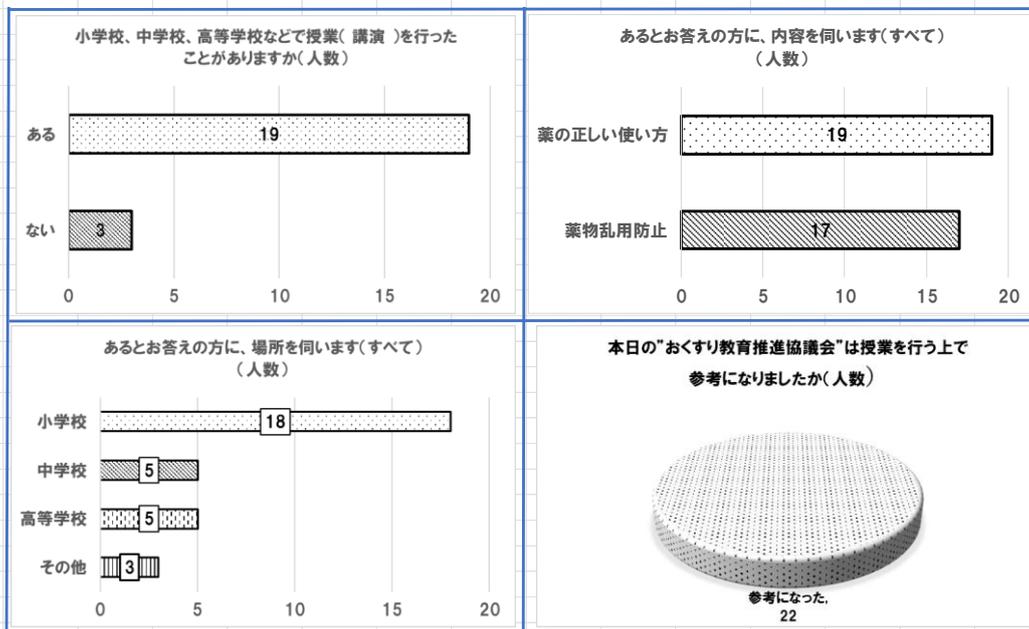


おくすり教育推進協議会(14)(2025/7/12) 参加者36名 アンケート22名



アンケート・記述

【内容・構成に関する希望】

- ・ これからの警察とのコラボ、進捗状況、実際の活動が知りたい(2)。
- ・ 実際の授業でどんなパワポ、動画を使っているのか知りたい。
- ・ 養護の先生とのコラボはしているのか、具体的なお話を聞きたい。
- ・ 実際に行っている方の経験談を聞きたい。
- ・ 日々情報が変わることもあり、今まで出てこなかった子供たちからの質問や疑問の声があれば、教えてもらいたい。
- ・ 薬物乱用に関する最近のトピックスをご講義いただければと思う。
- ・ 最近世間で話題になっているフェンタニルについての情報など、大麻も含め、医療用があるから安全という世間一般の認識へのアプローチについて知りたい。
- ・ 実際の現場での子どもたちの声を聴いたアンケート集計を広範囲で実施できないものか。
- ・ 少人数で意見交換をする時間が欲しい。
- ・ 他の地域の実際の授業内容は参考になりました。今後も具体的な活動内容の交流が出来る
と良い。

【感想・意見】

- ・薬物乱用、がんの講習会、共に大変勉強になりました(2)。
- ・ガン授業は、参考になりました(2)。
- ・薬物乱用防止教室の警察とのコラボについて考えていきたいと思いました。
- ・危険ドラッグのお話は、知識の整理ができ、現状を理解できたので助かりました。
- ・実体験を通したお話を聞ける機会も少ないので貴重な体験でした(2)。
- ・いろいろな立場やエリアからの方が集まっていて、情報を交換できるのが素晴らしいと思いました。
- ・情報が交錯する現代において、私たちは正しい内容を発信しなければいけないと、実感しました。
- ・保健所の活動について詳しくうかがえたのはよかったです。目指すところが一緒なのでどんなことをしているのかを知っていることは大事です。
- ・リモートは参加しやすいです(4)。
- ・実地、リモート開催のハイブリット開催だと参加しやすいかと思われ(2)。
- ・リモート開催だと遠方の地域の実状も聞けることに有意義な気がしました

【課題】

- ・オーバードーズ対策を年齢別にどう行うか
- ・がん教育について、保護者で罹患している方もいるので授業等ではそのへんの配慮も必要。
- ・改めて薬剤師という立場から話せることを考えたほうがよいのではと思っています。
- ・なかなか新しい小学校に代わってから講演の機会がありません。
- ・警察とのコラボという話も今後考えていこうかと思っています。

【その他】

- ・今回の実践発表を聞かせていただき、児童・生徒へのアプローチの方法を学ばせていただきました。参考にさせていただくことが多くあり、京都でもお話しいただきたい幸いです。
- ・学校薬剤師の活動に興味を持ち参加させて頂きました。私が小中高時代にはがん教育やオーバードーズの授業はなく、時代の流れに合わせて変化してきていると感じました。考慮が必要なことがあったり年齢によって伝え方や授業の進め方に工夫したりしていることを感じました。警察や学校との内容のすり合わせなど大変なこともあると思いました。貴重なお話を聞けてより薬剤師と学校の関わりを知ることができました。ありがとうございました。(参加学生)